

水稻除草剤

アットウ[®] Zフロアブル

テフリルトリオン……………3.8%
 ビラクロニル……………3.8%
 プロピリスルフロソ……………1.7%

種類名/テフリルトリオン・ピラクロニル・
 プロピリスルフロソ水和剤
 農林水産省登録/第24326号
 毒性/普通物*
 有効年限/5年
 包装/500ml×20、2ℓ×6

特 長

- 高葉齢のノビエや、SU抵抗性雑草(ホタルイ、コナギ、オモダカ等)に優れた効果を発揮します。
- ピラクロニルとテフリルトリオン配合により、イボクサ・クサネム・ホソバヒメミソハギなど近年問題となる特殊雑草にも効果を発揮します。
- 多年生雑草(クログワイ等)にも高い効果で、長期間抑制します。

適用雑草と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ノビエ4葉期 但し、 移植後30日まで	500ml	本剤 1回 テフリルトリオン剤 2回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロソ剤 2回	原液温水散布 又は 無人航空機 による滴下
		移植後3日～ ノビエ4葉期 但し、 収穫60日前まで			水口施用
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで	500ml	本剤 1回 テフリルトリオン剤 2回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロソ剤 2回	原液温水散布 又は 無人航空機 による滴下
		稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫60日前まで			水口施用

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの4葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。ホタルイは4葉期まで、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、ミスガヤツリは20cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、オモダカは矢じり葉2葉期まで、クログワイは20cmまで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは3cmまで、ナガエツルノゲイトウは再生始期、エゾノサヤヌカグサは発生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の使用適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ、ナガエツルノゲイトウは発生期間が長く遅い発生のもまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 使用に当っては、水尻を止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面いきわたるように使用してください。本剤使用後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお、水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田

全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。

- 本剤を無人航空機で滴下する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 著しい降雨が予想される場合には除草効果が低下するおそれがあるので、使用を控えてください。
- 空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤使用後の田面水を他作物に灌水しないでください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年10月16日現在の登録内容に基づいています。